

## ごみをへらす取組を進めているよ

2Rを進めよう!

3Rとはリデュース(ごみになるものをへらすこと)、リユース(くり返し使うこと)、リサイクル(もう一度資源にすること)のことだよ。中でもリデュースとリユースは、2Rといってリサイクルに比べて**電気や燃料を使わないから環境を守ることに繋がる**ので、優先して取り組む必要があるよ。

2Rってどんなことだろう?

### ★リデュース

- 使い捨てをしない
- つめかえ商品を選ぶ
- 必要なものだけ買う
- 壊れた物は修理して使う

### ★リユース

- 使いたい人にゆずる
- リユースショップ等を利用する

みんなもチャレンジしてみよう!



船橋市のごみ減量、資源化のイメージキャラクター「ふなばし3Rすずめ隊」

## 食品ロスをへらそう!

食べ残しや期限切れ、野菜の皮のむきすぎなどにより、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことを「**食品ロス**」と言うよ。船橋市でもたくさんのお店のまだ食べられる食品が捨てられているよ。



可燃ごみとして捨てられていた食品

### どうしたら食品ロスをへらせるかな?

#### ★食べ残しをしない

- 好き嫌いをせず、残さず食べる
- お店でごはんを食べるときは、食べきれぬ量を注文する

#### ★おうちの人と話してみんなでやってみよう

- 料理をする時は、野菜や果物の皮はうすくむき、食べられる部分を増やす
- なるべく手前に並んでいるものから買う(てまえどり)
- 必要な分だけ、買い物する

## 水質改善に向け取組を進めているよ

### 海洋プラスチックごみ調査実施中

市では日本大学生産工学部と連携して、プラスチックごみがどのように海に流れ込むかなど、調査を実施しているよ。

今後は、調査結果をもとに対策を考えて、みんなができる取組を発信していくから、協力してね。まずは、「**レジ袋をもらわない**」「**ごみは分別して捨てる**」など、できることから始めよう!



海での調査の様子



川での調査の様子

### みんなが使った水はきれいにしてから川や海へ

使った後の水は、下水処理場などできれいにしてから川や海に流しているよ。他にも、排水口に揚げ物油を流さないなど、みんなで取り組んだことで、船橋市の川の水はとてもきれいになっていて、生きものが住みやすい環境になってきたんだよ。

でも、海ではまだ赤潮や青潮が発生しているから、**引き続きみんなで協力して水をきれいにしよう!**



西浦下水処理場



海老川

# 教えて!

## 船橋の環境

### 外来種についての情報発信をしているよ

#### 外来種の被害を予防するには、右の三原則を守ろう。

- 「入れない」
- 「捨てない」
- 「拡げない」



カミツキガメ

カミツキガメやアメリカオニアザミのような危険な外来種もいるので、近づかないようにしてね。



アメリカオニアザミ



市ホームページ

## 地球温暖化を止めるための取組を進めているよ

### 学校などで太陽の光から電気をつくっているよ

避難所になっている公共施設(小学校、公民館など)に、太陽光発電設備と蓄電池を設置して地球にやさしい電気を使えるようにするよ。



丸山小学校 大穴北小学校

効果 エネルギーを無駄にしない・電気を蓄えて災害などに備える

### 清掃工場が発電した電気を利用してるよ

南部・北部清掃工場ではごみを燃やして電気を作り、公共施設で利用しているよ。



効果 エネルギーを無駄にしない・地元で作った電気をつかう

### みんなで地球温暖化を止めよう!

2050年**ゼロカーボンシティふなばし**※を目標に、一人ひとりができる対策に取り組んで、みんなで地球温暖化を止めよう!  
※ゼロカーボンとは、温室効果ガスの排出が実質ゼロとなること

### 学校などで環境の取組を伝えているよ

ゼロカーボンシティに向けて、小・中学生を含む市民の方や企業の方に地球温暖化の現状や身近にできる地球温暖化対策について授業や講演会を開催しているよ。



効果 環境の取組を広める・取組む人を増やす

年	日数
1983年	62日
2003年	35日
2023年	21日

効果 年代別! 真夏日(30℃以上)の平均日数と平均最高気温

年	平均日数	平均最高気温
1980年代	29.7日	34.4℃
2000年代	43.5日	35.6℃
2020年代*	58.8日	37.4℃

※2020年代は2020年~2023年

身近にできる温暖化対策は右コードで確認してね



市ホームページ

## 自然の恵みを守るための取組を進めているよ

### 貴重な干潟 三番瀬

三番瀬は、東京湾の最も奥に広がる干潟・浅瀬で、約1,800ヘクタール(船橋市面積の約1/5)の広さがあるよ。干潟では、日々繰り返される干満により酸素が供給され、多くの生きものを育てていて、これらの生きものの働きによって海水が浄化されているんだ。また、渡り鳥の重要な中継地でもあるよ。



### 自然の恵みを守るために私たちにできる行動

大切なことは5つあって、小学校の授業などで伝えているよ。

たべよう

地元でとれたものを食べ、旬のものを味わおう

えらぼう

エコラベルなどが付いた、環境にやさしい商品を選ぼう

ふれよう

自然の中へ出かけ、自然や生き物にふれよう

つたえよう

自然のすばらしさや季節の移り変わりを感じて、家族や友達に伝えよう

まもろう

自然や生き物の観察会、保護活動などに参加しよう

出典: 環境省「こども環境白書2016」

### 身近な生きものを探してみよう

船橋市は、都心に近く、商業等が発展しているまちだけど、こんな生きものがいることを知っているかな?



ヤマユリ(夏)



モス(秋)

### 参加しよう! モニタリング調査

市では、身近な生きものを探すことを通じて、市内の自然や生きものなどへの関心を持つことを目的に、「夏休みセミのぬけがら調査」や「生きものモニタリング調査」を行なっているよ。



市ホームページ